

さきちゃんだより



発行 2011.1 新庄河川事務所 立谷沢川砂防出張所

No.49

砂防事業に関する講演会の開催



昨年11月16日、庄内町立谷沢地区振興会の依頼を受けて、砂防事業に関する講演会が開催されました。

講演会では、はじめに当事務所の業務概要・今年度の出水状況・11月に開催した大規模土砂災害危機管理演習について、各担当から情報提供が行われました。その後、「最近の土砂災害の実態と総合的な災害対策について」と題し、花岡新庄河川事務所長から講演がありました。講演では、平成16年に新潟県で発生した中越地震や、昨年、山口県で発生した豪雨災害を例として、土砂災害の実態や土砂災害発生メカニズムなどについての説明がありました。

特に地震での土砂災害は、いつ起きてもおかしくありません。昔から「備えあれば憂いなし」と言葉があるように日頃から、災害に備えて、準備をしっかり行っておきましょう。

月山林道に不法投棄

昨年11月26日に工事現場から帰る途中、林道脇に冷蔵庫が不法投棄されているのを発見し、林道の管理者である東北森林管理局庄内森林管理所へ情報提供しました。不法投棄されていた箇所は、月山林道入り口から約1km入った林道脇の谷側斜面です。何時頃に投棄されたものかはわかりませんが、このような廃棄物は直接処分することが出来ず、庄内町や警察の取り扱いとなります。不法投棄は犯罪であり、処罰の対象となる行為です。そのような事象を発見したら施設の管理者まで情報提供をお願いします。



「廃棄物の処理および清掃に関する法律」

第16条 何人もみだりに廃棄物を捨ててはならない。
罰則規定 第16条の規定に違反した場合、5年以下の懲役若しくは1,000万円以下の罰金
法人格(代表者や従業員含む)であった場合は最高1億円以下の罰金

～平成22年 工事進捗状況のご報告～



施工業者: 升川建設(株)

現場代理人: 増川隆敏さん

本沢第二砂防えん堤改築工事

立谷沢川流域本沢第二砂防えん堤改築工事は、昨年3月下旬に発注になり、雪解けを待って本工事を6月より施工し、無事故無災害で11月中旬に完成しました。

本工事は、既設えん堤下流に新しくコンクリートを打ち込み、既設えん堤を大きくする工事であり、

施工箇所は、近くに月山があり自然が豊かで、きれいな河川が流れる場所でもあるので、当作業所では環境に配慮した作業を行いました。

施工中に3回程度河川の増水等があり苦労しましたが、降雪前に無事故、無災害で工事を完成する事が出来ました。

尚、工事期間中は、地域住民の皆様には何かとご迷惑をかけたと思いますが、工事に対するご理解とご協力、本当にありがとうございました。

丑ノ沢砂防えん堤工事

施工業者:(株)カキザキ
現場代理人:沼澤和義さん



このえん堤は、コンクリート製の壁を立てて、その中へ現場の土砂にセメントを混ぜて詰めていく工法です。私自身も初めて取り組む工法のため、苦労も多く印象深い現場となりました。セメントを混ぜた土での施工は、雨の日は出来ません。今年も、雨も多く作業中止の日もあり、工事が最後まで無事出来上がるかとても不安でした。作業場所にアブが大発生して、あちこち刺されて作業に集中出来ない事もありました。また、今年の漢字にも選ばれるくらい毎日暑い日が続き、みんなバテ気味になりましたが、地域住民、地域関係者の皆様のご協力、ご理解のもと、無事に工事を終える事が出来ました。この場を借りてお礼申し上げます。誠にありがとうございました。



施工業者:(株)柿崎工務所
現場代理人:荒川亨さん

濁沢第七砂防えん堤工事

濁沢第七砂防えん堤工事は今回で3年目の施工なのですが、この3年目が1番自然の脅威というものを感じた年になりました。普段はたくさんの自然がありとても美しいところなのですが、それは裏腹に、地すべり発生危険箇所があり、雨が降ればたちまち水量が増加したりと、自然の怖さを感じるころでの工事となりました。工事箇所でも地すべりの危険がありました。安全対策工をおこない、無事故・無災害で今年度の工事を完了することが出来ました。この砂防えん堤という工事はなかなか人目につくことがないのですが、施工に携わり土石流等の災害を少なくするためには、やはり必要な工事であると感じさせられました。陰ながらとなりますが、流域に住んでいる方々の生活や安全を護ってあげたいと思います。工事にあたって地域の方々にはご迷惑おかけしましたが、おかげさまで無事に無事故で終わることができました。ご協力と、ご理解の程感謝いたします。

濁沢第八砂防えん堤工事

施工業者:(株)柿崎工務所
現場代理人:今田康志さん



立谷沢川流域濁沢第八砂防えん堤工事を終えて一番の印象は、大雨時の増水です。いまままでに施工した砂防えん堤工事でも、大雨による増水は何回も経験しましたが、濁沢は違いました。過去に経験した増水では、大雨ですぐに増水しますが、雨が止めばすぐに水位も下がりました。しかし、濁沢は山が深く流域が広いので、増水するとすぐ流速が速くなり、中々水位も下がらず、暴れる川で作業が出来ない日もありました。改めて、土石流の怖さと砂防ダムの必要性がわかりました。工事を無事に終え、地域住民の皆様には、ご迷惑をおかけしたと思いますが、ご理解ご協力を下さり、誠にありがとうございました。この場をかりてお礼を申し上げます。



施工業者:佐藤建設(株)
現場代理人:山本大介さん

立谷沢川砂防管内施設整備工事

本工事は、羽黒山の山頂にある神社境内での斜面崩落による崩落土撤去と崩落斜面に側溝を設置する工事でした。工事場所が全国的にも有数の神社である羽黒山ということもあり、参拝客も多く参拝客車両と工事車両が同じ道路を走行するため、参拝客への工事施工の周知を徹底し、交通事故防止に努めました。また、現場周辺は重要文化財に隣接しているため、火災、油流出事故は絶対に起こさないと会社全体で安全管理の意識を高め、本工事を施工してきました。土質条件も悪く、土砂運搬の際に運搬車両への積み込みが思うようにいかず、重機オペレーターの熟練を要した現場でしたが、羽黒山神社、庄内交通、国土交通省と相互協力をし、無事故で工事を完了することが出来ました。各関係担当者の皆様には大変お世話になりました。

新年あけましておめでとうございます。昨年、砂防事業にご理解とご協力を賜りまして、誠にありがとうございました。本年も立谷沢川流域の安全・安心のため邁進する所存でございますので、昨年同様、よろしくお願いたします。

立谷沢川砂防出張所一同

《立谷沢川砂防出張所／砂防資料館》

〒999-6601
東田川郡庄内町狩川字堅田20-23
TEL 0234-56-2050
FAX 0234-56-2081

<http://www.thr.mlit.go.jp/shinjiyou>

～砂防資料館～
開館日：※土日・祝日は閉館しております。
※ご利用の際は事前にご予約ください。
駐車場 小型バス3台駐車可

